

厚生園の動き

2月

- 2日 節分企画（信生寮・まじわりの家）
- 8日 外出企画 調理訓練（地活ナルド）
- 17日 在宅・福祉静岡ブロック聖隸福祉学会
- 19日 外出企画 お花見に行こう（地活ナルド）
- 26日 救命救急訓練（信生・讃栄）



4月

- 2日 お花見企画（信生寮）
- 8~12日 いちご狩り企画（まじわりの家）
- 16日 外出企画 浜名湖花博へ行こう（地活ナルド）
- 22日 防災訓練（讃栄）



「浜名湖花博」から20年。
再び浜名湖で
新たな花博が開催
されました！



清掃工場見学に
行ってきました！
リサイクルの大切さを
学びました

ご援助とご奉仕 ありがとうございました

◆ご援助いただいた方々（敬称略・順不同）

（令和6年2月1日～令和6年4月30日）

渥美穎司、岩品勝久、伊吹辰男、伊藤進、金沢幾子、
小杉みや子、志村俊身、鈴木國松、鈴木秀長、中野富雄、
藤沢俊光、松本五百子、山田八重、細江湖東簡易郵便局、
ユニヴァーサル商事（株）、匿名1名、寄付金箱

合計 154,097円

◆ご奉仕のかずかず（敬称略・順不同）

（令和6年2月1日～令和6年4月30日）

- 信生寮・まじわりの家
新型コロナ感染予防のため、ご遠慮いただいております。
- 讃栄寮
新型コロナ感染予防のため、ご遠慮いただいております。
- 礼拝奉仕者
赤井伸之、大倉和子、児玉ゆき子、長谷川佳子、長谷川治代、
池谷明高、岡俊雄、浜名明典、平松察人、星野健、三輪保志、
三輪尚士、望月明

苦情解決報告

聖隸厚生園讃栄では、施設の苦情解決を適切に行うことにより福祉サービスの質を高め利用者の満足度や信頼性度を確保・向上させ利用者の権利を守ることを目的として、苦情の受付体制を整えております。

令和5年10月1日～令和5年12月31日の期間、
苦情はありませんでした。

「聖隸厚生園を育てる会」へのご支援について

郵便振替口座 00880-6-15517 「聖隸厚生園」

「聖隸厚生園を育てる会」は、厚生園の福祉活動が健全に継続・発展するように、助言や支援をしていくために発足しました。これからも厚生園が地域福祉推進の拠点として、その役割を担う為の取り組みをサポートしていきたいと考えております。ご支援をよろしくお願い申し上げます。戴いたご寄付は、聖隸厚生園の福祉活動にあてられます。

讃栄寮 新型コロナウイルス感染……3月に新型コロナウイルス感染が発生しましたが、感染拡大防止に取り組み4月上旬には収束を迎え通常の生活に戻りました。ご家庭や関係機関の皆様には収束に向けてご協力頂きました事を心より感謝申し上げます。

編集後記

今年は桜の開花が遅かったですね。でも、咲いてしまえばあっという間。
また新しい年度の始まりです。新入職員も入り私達も心機一転頑張ります！（K・K）

厚生園だより

まじわり

168

2024.5 発行



新施設長 ご挨拶

2024年度事業計画

New face

厚生園の動き 各施設の行事等

傷ついた葦を折ることなく
ほのぐらい灯心を消すことなく
眞実をもって道をしめす

(イザヤ書42章3節)

真のニーズを見極めて使命を果たしてまいります

聖隸厚生園信生 施設長 石川明彦



2024年4月1日付で聖隸厚生園信生の施設長に就任いたしました石川明彦(いしかわあきひこ)と申します。聖隸厚生園は私にとってとても縁の深い施設です。31年前に初めて配属されたのが聖隸厚生園まじわりの家で、2年目からは信生寮の入所部門で仕事をさせていただき、厚生園のご利用者及び先輩職員から多くのことを学ばせていただきました。外出企画や、食事企画等のイベントもご利用者と一緒に楽しみ、現在の様な複雑な規制や制限もなく、今思えば良くも悪くもやりたいと思えば何でもできる時代だったかと思います。私の介護・福祉の原点が厚生園にあると言っても過言ではありません。その後、和合せいいいの里、森町愛光園で高齢者介護も学ばせていただき、聖隸厚生園信生寮に戻ってまいりました。

今年度は3年に1度の障害福祉サービスの報酬改定があり、様々なサービスが充実してくると共に制度が複雑化しているのが現状です。煩雑化する業務と人材不足の中で、自分たちが何のために仕事をしているのかを見失いそうなどきもあるかと思いますが、そういった中で、ご利用者の本当のニーズは何か、地域で求められている厚生園の機能と役割は何なのかをしっかりと見極めていく必要があると思います。

全国身体障害者施設協議会の倫理綱領には、「最も援助を必要とする最後の一人の尊重」「可能性の限りない追及」「共に生きる社会づくり」といった基本理念があります。聖隸の理念、厚生園の施設理念も併せて職員一人一人が原点に立ち帰り、誇りをもってご利用のためにやりたいと思った支援ができるよう、これらの理念を継承していきたいと考えております。

今後ともご利用者・ご家族・地域の皆様方のご指導ご鞭撻のほどを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご利用者の思いを大切にして支援してまいります

ナルド工房所長 中道 景



2024年4月1日より聖隸厚生園ナルド工房所長に就任した中道 景(なかみち けい)と申します。今まで、特別養護老人ホームでの相談員経験や就労支援事業所での現場経験や管理業務をさせて頂きました。常に利用者や職員とのコミュニケーションを大切にして仕事をしてきました。

今回配属となった聖隸厚生園ナルド工房は、聖隸福祉事業団の中で初めてできた就労支援事業所です。制度がまだない中で障がいのある方の「地域で働きたい」という思いを大切に施設運営してきた経緯があります。その中で培ってきた価値観や地域とのつながりを大切にしつつも、現在の利用者のニーズやこれから地域ニーズをしっかりと受け止め、事業所として成長できるように事業運営をしていきたいと考えています。

私自身、まだまだ未熟ではありますが、職員と協力して精いっぱい頑張っていきたいと思いますので、今後とも皆様の温かいご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ご利用者の思いを大切にして地域の一員として社会に参加できるよう支援していきたいと考えています。

2024年度 事業計画

社会福祉法人 聖隸福祉事業団
聖隸厚生園信生

障害者支援施設 聖隸厚生園信生寮 聖隸厚生園まじわりの家
訪問看護ステーション細江 聖隸ケアプランセンター細江
聖隸ヘルパーセンター浜松北

2024年度は引き続き医療と介護・福祉の連携強化を行い、利用される方が住み慣れた地域で安心して暮らしていくよう、一体的な事業展開を目指す。聖隸厚生園信生寮では、「利用者の“やりたい”を支援する」「職員が定年まで心身ともに健康で働き続けることができる職場づくり」の2つを基本方針とする。利用者と職員がお互いの気持ちを理解し合える機会を作り、利用者・職員の心理的安全性が保たれた施設を目指す。在宅部門においては、利用者が望む地域生活が選択できるように、介護保険、障害福祉分野との連携強化を継続し、地域の多様なニーズに対応できる事業運営を目指す。

- 【経営方針】**
- 1.利用者が楽しく安心して尊厳のある生活ができる支援を行う
 - 2.地域課題の解決に向けた取り組み
 - 3.利用者も職員も安心・快適に過ごせる施設環境の創造
 - 4.介護人材の確保と育成の取り組み
 - 5.災害時対策・地域における公益的な取組み

【事業計画】

- 1.利用者が楽しく安心して尊厳のある生活ができる支援を行う
 - (ア)利用者の意思決定支援ガイドラインに基づいて、サービスの利用意向を反映した個別支援計画等の実践に努める。
 - (イ)身体機能の廃用性や生活意欲の減退を防ぐため、介護過程に基づいた利用者の“できる”を引き出す個別支援を多職種協同で行う。
 - (ウ)オムツメーカーと協働して、利用者に負担の少ない排泄介助方法を検討、実施する。
 - (エ)巡回困難ケースについて、グループスーパーバイジョンを行う。困難となっている原因を職員同士で分かち合い、利用者との関わり方を模索する。
 - (オ)虐待防止セルフチェック表を年2回実施し、利用者の尊厳を守る取り組みを行う。
 - (カ)社会資源を活用した新しい買い物支援のあり方を考え、実行する。
 - (キ)バースポーツへの利用者参加を推進し、地域社会とのつながりを創る。
 - (ク)利用者家族との意見交換を目的とした家族会を開催する。
 - (ケ)夜間の宅直看護師が遠隔で利用者状態を目視しながら、夜勤者と情報交換ができるように、LINEの動画通話などを活用した新たな方法を実施する。
 - (コ)入所・通所者の咀嚼能力等の口腔機能及び栄養状態を適切に把握し、かたちのある食べ物を口から食べる楽しみを多職種で支援し、食事の付加価値を向上させる。
 - (サ)水光熱費、食材料費の価格高騰に考慮した運営を行う。特に給食委託業者と協働し、給食のオペレーションの見直しを行う。
 - (シ)施設の指定基準どおりに運営が出てきているか、年1回以上チェックを行う。
- 2.地域課題の解決に向けた取り組み
 - (ア)訪問看護ステーション細江では、聖隸三方原病院と連携し、浜松市旧北区・旧西区を中心に活動をする。特に高齢者の独居世帯の増加が進む引佐地区への積極的な介入を行う。
 - (イ)聖隸ヘルパーセンター浜松北では、細江、引佐、三方原、都田4地区を中心に引き続き地域ニーズに応えていく。また、ヘルパーセンターいなしと協働し、三ヶ日地区への支援に力を入れる。
 - (ウ)聖隸ケアプランセンター細江では、学生やセカンドキャリアを目指す人材等が介護支援専門員の仕事に興味を持ってもらえるようにPR活動に力を入れ、人材の発掘から育成までを行い、減少している引佐地区への介護支援専門員の輩出に寄与する。
 - (エ)在宅福祉サービス事業所、通所事業所、相談支援事業所等が合同カンファレンスを定期的に行い、支援困難ケースを通じて実質的な連携を取り組み、課題解決の糸口を見出す。
 - (オ)聖隸厚生園まじわりの家では、意思疎通ができない利用者に対して、感覚刺激を促す新たな支援を導入し、利用者満足度を向上させる。
 - (カ)西部特別支援学校からの体験実習を積極的に受け、卒業後に利用者やその家族が求める地域生活ができるように支援計画を提案する。
 - (キ)シオンハウスの今後の事業の方向性を協議し、具体的な動きにつなげる。
- 3.利用者も職員も安心・快適に過ごせる施設環境の創造
 - (ア)最新の介護機器を導入し、「介護の自動化」を推進させる。
 - (イ)ノーリフトケア推進を継続し、職員が長く働き続ける職場づくりに努める。
 - (ウ)新たに導入した支援記録・請求ソフト(ケアカルテ)の活用を進め、業務省力化を図る。
 - (エ)カスタマーハラスマント防止のための仕組み整備し、職員・利用者研修を行う。
 - (オ)職員が利用者のためにやりたいことを実現できる自発的な活動を推進させる。
 - (カ)レクリエーション機会を通じて、職員同士の交流を活性化させる。
- 4.介護人材の確保と育成の取り組み
 - (ア)各専門職ラダー、コンピテンシー評価を活用し、職員の人材育成を図る。
 - (イ)人事企画部と連携し、EPA介護福祉士候補生の学習支援の強化を図る。
 - (ウ)聖隸クリストファー大学・介護専門学校等と連携し、実習及びインターンシップの受け入れを積極的に行い、養成校とともに将来の介護人材の育成に貢献する。
 - (エ)聖隸厚生園ナルド工房・聖隸ワース工房浜松学園と連携し、障害者雇用や就労継続支援の受け入れを積極的に行う。
- 5.災害時対策・地域における公益的な取り組み
 - (ア)大規模災害時や感染拡大時にも事業が継続できるように、職員へのBCP周知徹底を図る。
 - (イ)地域の要請に応じて、災害等発生時には応援職員を派遣する。

社会福祉法人 聖隸福祉事業団 聖隸厚生園讃栄

救護施設聖隸厚生園讃栄
救護施設聖隸厚生園讃栄
就労支援事業所ナルド
障害者相談支援事業所ナルド
生活訓練事業所ナルド
地域活動支援センターナルド
福祉共同住宅ファーストステップ

2024年度、生活保護法改正に伴う個別支援計画作成の制度化が予定されている。救護施設讃栄では利用者の意思を尊重した個別支援計画を作成し、個人の能力に焦点をあてた生活支援を更に充実させ、自立促進を進めていく。障害在宅部門では利用者の生活背景の変化や若年化等がみられており、関連するサービス提供事業所や家族とも情報共有を更に強化し、地域の中で生活を継続するためのサービス提供に取り組んでいく。

【経営方針】

1. 利用者の意思を尊重した自立支援の促進
2. 「経験できた」と実感できる利用者主体の個別支援を実施する
3. 利用者の将来を見据えた支援体制と仕組みづくりに取り組む
4. 利用者にとって最適な資源やサービスを提案する
5. 新たな地域ニーズを発掘し、関連するサービス提供事業所と協働する
6. 地域における地域貢献等の公益的な取組み

【事業計画】

1. 利用者の意思を尊重した自立支援の促進
 - (ア) 利用者の自己選択と自己決定を促すことを主眼においた個別支援計画を作成し、実践する。
 - (イ) 地域移行支援、高齢者施設移行支援など、将来の生活を見据えた生活を送れるよう利用者、家族、関係機関と連携し、生活環境を整える支援を行う。
 - (ウ) 利用者の身体介助において安全且つ負担軽減されるようICTや福祉機器を活用する。
2. 「経験できた」と実感できる利用者主体の個別支援を実施する
 - (ア) 作業支援や金銭管理支援など日常の生活目標にスマートルームを盛り込んだ自立生活支援を実施する。
 - (イ) 歯科受診、口腔ケア支援等の口腔内環境改善、または嚥下体操促進による嚥下機能低下防止等、安全に食事が摂れるよう支援する。
 - (ウ) 地域移行支援や居宅生活訓練において、地域資源の見学や体験機会を提供し、利用者の地域生活への意欲を高めるための取組みを行う。
3. 利用者の将来を見据えた支援体制と仕組みづくりに取り組む
 - (ア) 生活訓練事業所ナルドでは、利用者の将来に対する家族の意向や自宅での生活状況を把握し、支援者間での情報共有や訪問支援など家族を巻き込んだ個別支援を提供する。
 - (イ) 生活介護事業では、利用者の「働きたい」という意欲を大事にし、将来的な可能性を維持した支援を提供するため、B型就労支援事業所等と循環的な支援体制を構築する。
4. 利用者にとって最適な資源やサービスを提案する
 - (ア) 相談支援事業所ナルドでは、介護・医療・障害・児童等、多種多様の地域ニーズに対応できるよう、児童発達支援センターや訪問看護ステーション、その他サービス提供事業所等と連携してネットワークづくりに取り組む。
5. 新たな地域ニーズを発掘し、関連するサービス提供事業所と協働する
 - (ア) 地域活動支援センターナルドでは、利用者が「誰かと関わる居場所づくり」「次へのステップ」となるために、障がい者相談支援センターなど関連機関と協働する。
 - (イ) 福祉共同住宅ファーストステップでは、利用者の希望のある方に対して関係機関と連携し、地域移行を実現する。更に単身での地域生活に不安を抱える利用者を受け入れ、将来的に地域移行を目指した生活支援を実施する。
6. 地域における地域貢献など公益的な取組み
 - (ア) 生活困窮者支援では、浜松市生活自立相談支援センターつながりと協働し、ケース検討や交換研修等の支援体制を構築し、無料低額宿泊所(日常生活支援住居施設)開設の協議を進める。
 - (イ) 大規模災害や感染拡大発生時等、要請に応じて職員派遣や福祉避難所提供を行う。

社会福祉法人 聖隸福祉事業団

就労支援事業所

聖隸厚生園ナルド工房

聖隸厚生園ナルド工房では、利用者が地域社会で活躍できる機会を増やすため、2023年度に導入した床ワックス清掃作業に続き、2024年度は喫茶店の営業再開を目指す。利用者が自己実現に向けて現状から次のステップをイメージすることができるよう、様々な職業経験を積むことができる環境を作り、仕事にやりがいを感じられる事業所を目指す。

【経営方針】

1. 利用者の仕事へのやりがいを引き出し、次のステップがイメージできる取り組み
2. 利用者のステップアップを支える多職種・関連機関と協働した取り組み
3. 就労支援を支える人材の質の向上と職員が安心して働く職場作りの取り組み
4. 地域における公益的な取組み

【事業計画】

1. 利用者の仕事へのやりがいを引き出し、次のステップがイメージできる取り組み
 - (ア) 喫茶店の営業を再開し、利用者へ販売・接客の仕事を提供することで、仕事の幅を広げる機会を作る。SNS等を活用し、プロモーションに力を入れることで、人が集まる事業所を目指す。
 - (イ) 利用者の目標設定のカンファレンスでは、職業準備性ピラミッドに基づき、できたこと、頑張ったことを定期的にフィードバックするとともに、自己の課題を知り、働く時間や日数を増やす等、次のステップを明確にした計画を立てる。
 - (ウ) 利用者が企業での就労をイメージできるように「5S活動」に取り組む。職員と利用者が一緒に働きやすい職場について意見交換を行う。
 - (エ) 就労支援のグループワークでは、早期の企業見学や実習を行い、就職へのイメージが持てる取り組みを行う。
2. 利用者のステップアップを支える多職種・関連機関と協働した取り組み
 - (ア) 生活訓練事業所ナルドと協働し、利用者のステップアップや再チャレンジの仕組みを共有する。生活訓練事業所から就労支援事業所への体験会を積極的に行う。
 - (イ) 聖隸ワース工房浜松学園と協働し、就労継続支援B型からA型へステップアップできるように、実習機会を設ける等の仕組み作りを行う。
 - (ウ) 相談支援事業所や在宅サービス事業所と協働し、健康管理等に課題のある利用者が安定して就労ができるように、担当者レベルでのタイムリーな情報交換を行う。
 - (エ) 「就労パスポート」(厚生労働省推進ツール)を活用し、利用者が働く上で、自分の特徴や希望する配慮ができるよう支援する。また、企業担当者や関連機関と情報共有し、必要に応じてジョブコーチ等を提案する。
 - (オ) 特別支援学校の進路担当者と情報交換し、生徒・保護者が進路の見通しが立つようなアセスメントが行えるように、計画的かつ効果的な実習を行う。
3. 就労支援を支える人材の質の向上と職員が安心して働く職場作りの取り組み
 - (ア) 外部研修やeラーニング、スキルラダーを活用し、利用者の障がい特性の理解や職業指導スキルの向上ができる学びの機会を作り。
 - (イ) 新たに導入した支援記録・請求ソフト(ケアカルテ)の機能を活用し、業務の効率化を図るとともに、捻出した時間を利用者支援に活かしていく。
 - (エ) 虐待防止セルフチェックを年2回実施し、利用者への関わりや職場環境について定期的に振り返り、利用者・職員ともに安心して働くことができる環境作りに役立てる。
4. 地域における公益的な取組み
 - (ア) 近隣施設と合同防災訓練を企画・提案し、有事の際に協力ができる関係作りをする。

讃栄寮食事企画

カレーライス調理



讃栄寮昼食でご利用者がカレーライスづくりを行いました。準備から食事委員会メンバーのご利用者が中心となり栄養士や職員と相談し、他利用者への聞き取りやアナウンスに取り組みました。生憎の雨模様でしたが、火起こし・材料カット・煮込みなどご利用者同士協力して楽しく調理できました。いざ実食！おいしく作れたカレーライスに「自分たちで作れた！」と自信がついたのではないでしょうか？

地域活動支援センターナルド

菓子工房フィーロへお出かけ

地域活動支援センターナルドでは、月に一度焼き菓子のお店フィーロへ買い物を行っています。都田の浜松学園にある人気の洋菓子屋さんです。お店に向かう車内では、「何を買おうかな」「この前買ったタルトはすごく美味しかったよ」とそれぞれ声を掛け合っていました。

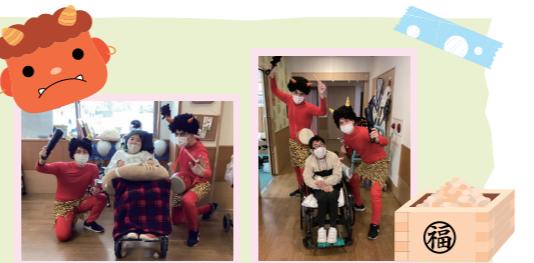
購入したタルトやシフォンケーキは家に持つて帰る人もいますが、フロアで食べていく人もいます。お互いに購入したケーキを見せ合いながら、カフェタイムを楽しんでいました！



信生寮 まじわりの家

鬼は外 福は内 節分企画

今年も力をあわせて豆をまき、鬼退治を行いました。ご利用者は「みんなが健康でいられるように」と願いを込めて悪いものを追い出しました。仲良くなつた鬼と写真をとりました。



信生寮

お花見を楽しみました

「外出がしたい！」「桜が見たい！」というご利用者の要望を受けて、お花見企画を実施しました。近隣の聖隸クリストファー大学の構内にある桜やチューリップを見て、お花見を楽しみました。なかなか外出の機会を設けることができなかったのですが、久々の外出企画ではご利用者の皆さまの嬉しそうな表情が見て取れました。「楽しかった、また行きたい。」という声が多数寄せられ、今後も、こういった外出企画を計画、実施していきたいと感じました。



New face

聖隸厚生園の新しい仲間をご紹介いたします

こんなこと聞きました

- ①趣味は何ですか？ ③好きな理由は？
- ②好きな食べ物は？ ④ひとことメッセージ

信生寮
橋爪 華蓮
新卒



- ①散歩、編み物
- ②うどん
- ③食欲が出ない時でも食べやすいから
- ④笑顔と優しさを忘れずに頑張ります。

信生寮
中道 桀伍
新卒



- ①スポーツ観戦、カメラ、ドラマ・アニメ鑑賞、ドライブ、よさこい、ボランティア
- ②ハンバーグ ③小さい頃から大好き！
- ④利用者さんに寄り添っていきます。

信生寮
本間 もも
新卒



- ①山Pのオタクをすること
- ②たらこ ③小さいときから食べてておいしいから ④一生懸命学んでいくたいので、色々教えてください。

讃栄寮
吉瀬 ゆり
新卒



- ①観葉植物を育てる
- ②アイスクリーム
- ③お風呂上がりのアイスが何よりも幸せ！
- ④いつも笑顔で頑張ります！

ナルド工房
中道 景
新卒



- ①3人の娘と全力で遊ぶこと ②ネギトロ丼
- ③昔パートで海鮮丼の店で働いていたから
- ④様々な方とコミュニケーションをとていきたいのでよろしくお願いします！

讃栄寮
玉澤 卓也
新卒



- ①家庭菜園
- ②エビフライ
- ③特別な感じがするから
- ④「今日も良い日だった」と思ってもらえるよう頑張ります。

信生寮
石川 淳平
新卒



- ①サーフィン
- ②焼肉
- ③幸せな気分になるから
- ④やる気、元気、笑顔で頑張ります。

讃栄寮
北村 昭平
新卒



- ①キャンプ、散歩(介護予防の為)
- ②栗 ③9月生まれだから
- ④楽しみを見つけて認知症を予防したいと思います。

相談支援事業所ナルドサテライト
樽松 千明
新卒



- ①作りことが好きです。(料理でも布物でも)
- ②コーヒー + ちょっとしたスイーツ
- ③“ほっ”とできたような気がするので
- ④公私共に、ひとつひとつ丁寧にやっていきます。

ナルド工房
石原 愛枝
新卒



- ①カメラ
- ②しいたけ
- ③食感、味、香り、全て。
- ④6年振りの厚生園です。初心にかえって頑張ります。

まじわりの家
長谷 佳織
新卒



- ①好きなサンリオキャラクターのグッズ集め
- ②寿司 ④いなさ愛光園より一年ぶりに信生寮に戻ってきました。わからないことも多々ありますが一生懸命頑張ります。

ナルド工房
間淵 美穂
新卒



- ①料理
- ②カニ
- ③とっても美味しいから
- ④これからもよろしくお願いします。

訪問看護ステーション細江
高橋 明子
新卒



- ①土いじり
- ②寿司、天ぷら、そば
- ③日本人だからでしょうか
- ④自分らしく懸命に頑張ります。

信生寮
中村 雅彦
新卒



- ①サイクリング、木工
- ②パスタ
- ③理由はないですが！
- ④宜しくお願い致します。

まじわりの家
木村 志穂
新卒



- ①子供と一緒に遊ぶことです。
- ②あんこが大好きです！
- ④5年振りに戻ってきました。またよろしくお願いします。

